

# 進路アドバイス



## (その1)ダブルスクール(大学と専門学校)とシングルスクール(専門学校)のどちらを選ぶ？

まず伝えたいこととして・・・

- ・大学だけでは会計スキルを身につけることはできない。
- ・ダブルスクールは大学の学費以外に専門学校の学費もかかる。お金以上に両方を両立することが大変。
- ・会計職(民間企業の経理職)などは専門職であるため、職種の中でも一番学歴が関係しない。

コロナ禍で今まで以上に就職内定が厳しくなる中、現役大学生がダブルスクール用の専門学校に資料請求する件数が増えています。その中で、この高校生での進路選択でとりあえずの大学進学を選択するのではなく、専門学校のみを選択することも一つかもしれません。

一般的に専門学校への進学は、一つ分野を専門的に学ぶため、途中で進路変更ができないなどと思われるかもしれませんが、すべての仕事＝経営と言っても過言ではなく、経営は会計が分からなければ確実に判断をすることができません。会計スキルは一番仕事で活用でき、また会計スキルを極めている人材が少ないことから希少性も高いので、会計スキルを専門的に学ぶという選択は間違いありません。

また、会計スキルは資格取得を通して学ぶので、一般的に資格取得を目的としたテクニックの勉強になりやすいですが、それでは資格が取得できても実務で活用できる力が身につけているかは疑問です。そのため、考え方や理屈をしっかりと理解する学び方で、資格とともに実務に活用できる力を身につけていくことが必要で、そのような指導をしているのが唯一東京CPA会計学院です。

## (その2)CPAは人生が変わる場所？

CPAでは大学受験が思うようにいかず進路変更をして入学する高校生がいます。CPAが人生の敗者復活の場である！とは言い過ぎかもしれませんが、そのような形でCPA入学した方が、日商簿記1級に合格して上場企業の経理職に就いたり、国家資格の税理士に短期間に合格し、やりがいある仕事に就くとともに、高待遇を受けながら社会で活躍しています。

同じ境遇だったCPA卒業生のMさん。現在は、世界4大会計事務所の一つであるトーマツ税理士法人に勤務しています。

普通科高校出身で、栄養学系の大学進学を希望も上手くいかず、調理系の専門学校に進路変更を考えた際に、CPAを知る高校の先生から調理系の専門学校の近くにあるCPAの見学も勧められ、ついでにという気持ちで学校見学に来たのがCPAとの出会いでした。その学校見学で学生が集中して学ぶ授業の雰囲気に触れ、この環境なら「自分を変えられるかもしれない」と思いCPAに入学を決意。入学後は初めて学ぶ簿記に戸惑いながらも先生のサポートを受け、8ヶ月で日商簿記1級に合格し、その後税理士科目を学び、晴れて3年4ヶ月で税理士に合格しています。